



文責：矢田部 瑞穂

「あいさつ」の力!

能代市教育委員会：高橋誠也教育長より次のメッセージが、各小・中学校に届きました。

「横断歩道で車が止まった時、小・中学生がお礼のお辞儀をしてくれるのがとても嬉しい。」という情報が複数教育委員会に寄せられます。家庭のしつけや学校の指導の賜物だと思います。このことが、歩行者ファーストの運転者の一時停止意識高揚に繋がればいいなと思っています。

朝、子どもたちの様子を見ていると、路地から市道に出る車が、自分が行き過ぎるのを待っていてと感じたのか、小走りで通り抜け、お辞儀をして感謝を伝えている場面に出くわします。以前、全校集会で話しましたが、「心は行動に表れる」まさに、それだと思いました。「ありがとう」は言っていないけれども、「止まってくれてありがとう」が、できるだけ早く渡らなければという小走り与会釈に表れています。教育長メッセージのおかげで、子どもたちのよさを再確認するとともに、地域全体の温かさを再確認できました。12月も半ば。慌ただしさが加速する毎日ですが、心にちょっとのゆとりをもって、安全・安心な毎日を過ごしていきたいと思います。



瞳かがやく浅小っ子コーナー



鈴木（左）武田（右）
（2人とも2年生）

ある日の登校時。登校路の近隣宅の方が、とても嬉しそうなお表情で子どもたちを見守っていた。その方の表情が嬉しそうだったその秘密は、武田さんと鈴木さんの挨拶にあった。登校路はその方のご自宅より2メートルくらい上にある。だから、気付かないで通り過ぎてしまうこともある。しかし、この2人は違った。登校路より下のご自宅でお仕事をしている人を見付け、上から大きな声で「おはようございます！」と挨拶をしたのだ。その後、2人に「知り合いの人なの？」と聞くと、「全然知りませんが、挨拶しました。」と。「当たり前ですよ。」と言わんばかりの自然な感じで。人と人とのつながりが薄くなっている昨今だからこそ、地域の方に大きな声で挨拶をするこの2人をとても愛おしく感じた。

そういえば、もう一か月も前になるが、2年生の郵便局探検について行った時、道中で出会う働いている人たちに「お仕事がんばってください！」と声を掛けていたことを思い出す。子どもに声を掛けられた大人は、みんな笑顔になる。その時に武田さんが私に「これが浅小プライドです！」と。集会で「浅小プライドをもつこと」を話したことがある。武田さんの言葉に心躍った。「みんなを笑顔にする力があること」それが「浅小プライド」かもしれない。君たちは最高です！



明日はPTA！お待ちしております！



明日は、PTA授業参観日です。今年度は、初めての授業参観となりますので、ぜひ、子どもたちの成長をご覧いただければと思います。また、その後の「移動保健教室」と「全体会」にもぜひご参加ください。すでに、不参加で提出済みの皆様も、当日参加が可能ですので、どうぞご検討ください。

ところで、こ
小川 さん
今週月曜日の朝、
って入ってきて
つくったアレン
本当にきれいな
見せたくなり、
もらいました。
1階階段そばに
ご覧ください。では、



の記事中央の写真は、
(6年生)です。
校長室にお花を持
くれました。「私が
ジフラワーです。」と。
お花でみんなに
田中先生に飾って
PTAの際には、
飾っているの、ぜひ
明日、お待ちしております！



瞳かがやく浅小っ子コーナー

ある日の読書タイム。1年生の学級文庫の本が右に傾き、その傾いたところにみんなが本を返していくから、大変なことになっていた。その状態のところへ本を返しに行った平川さん。その傾いた本の塊を直そうと必死。まずは、その直そうとした気持ちが素晴らしい。けれども、一人では重すぎる量。そこへ現れた救世主、今野さん。一緒に力を合わせて、姿勢の悪い本の矯正に懸命。少し遠くで見えていたが、やはり大人の手が必要に感じて近付いてみた。その時です。今野さんが、「これを途中に挟んだらいいんじゃない？」と、ブックスタンドを取り出す。私は、手を出したくてうずうずしたが、ここは、黙って見守ることにした。2人の協力体制がどんどん強化していく。平川さんが本の傾きを直しているその隙間に上手に今野さんが、ブックスタンドを挟む。本と格闘した時間はわずか2分程度であったが、2人が力を合わせるその姿に大きな成長を感じた。大人はつつい手を出したくなるが、待つことで子どもは成長するのではないか・・・今更ながら、そんなことを学んだひとときであった。平川さん、今野さん、ありがとう！

平川（左）今野（右）
（2人とも1年生）

